

年 報

令 和 2 年 度

徳 島 県 立 図 書 館

ま え が き

大正・昭和・平成と百年余りの歴史を刻んで来た徳島県立図書館は、新しい令和の時代を迎えました。これまで二度の焼失から再建され、平成2（1990）年には文化の森総合公園へ新築移転し、本年は「文化の森開園30周年」の記念すべき年に当たります。振り返ると移転前の平成元年度の蔵書は55万冊、年間貸出数5万冊だったものが、現在では所蔵図書数約167万冊、年間貸出数約61万冊と、いずれも全国有数の規模になっております。

一方30年前には、県下に17の市町村立図書館が設置されていましたが、現在では全24市町村のうち19市町村で28館に拡大しています。当時の各図書館との連携状況は、県立図書館蔵書のコンピュータ検索やパソコン通信による情報交換が始まったところでしたが、令和元年度には県立図書館から市町村立図書館への貸出が2万冊を越えているなど、「とくしまネットワーク図書館システム」を介した県内公共図書館の蔵書の横断検索や、相互貸出が定着しています。このシステムは、利用者の皆様にはインターネットでの各図書館の蔵書検索、県立図書館の貸出予約や読書履歴の保存並びに電子書籍の閲覧にお使いいただいています。

また、「とくしまデジタルアーカイブ」で、文化の森総合公園の博物館等の所蔵資料とともに、デジタル化した当館の郷土関係の貴重な和古書や絵図の公開も始まり、電子書籍と合わせて、来館しないで利用できる「電子図書館」ができました。

こうした中、令和2年1月に始まった新型コロナウイルス感染症の世界への広がり、4月11日には国内の1日の感染者数が最多の700人を越え、4月16日に国の「緊急事態宣言」の対象が全国に拡大されました。この間、県立図書館では、ウイルス感染についての新たな情報が更新される都度、手指消毒、マスク、飛沫防止といった様々な対策を講じ、利用者と館員、図書館に関わる双方の感染防止に努めて参りました。政府からの要請に基づく臨時休校が3月に始まった際には、県内でも臨時休館したり、利用制限を行う図書館がありましたが、広いスペースが幸いし、「3密」の状態を避けながら開館を続けることができました。ところが、「人の移動を最小化すること」を目的として、「県を跨いだ移動を自粛」するよう要請されている中で、徳島県は県外からの訪問を断るために4月22日から5月8日まで県有施設を休館し、県立図書館も、返却と予約本の貸出、電話のレファレンスのみにサービスを限って、閲覧のできない「部分開館」を行うことになりました。

戦前の図書館のような「閉架式」をとった期間に、インターネットでの予約は相当普及しました。とはいえ、実際に本を手にとって選べないこと、学術研究に必要な資料が館外持出不可であることなど、利用者の皆様にはご不便をおかけしました。その後、通常開館に戻った5月9日に、貸出冊数が平常時の2.5倍に上る6千冊を越えたことは、図書館が日常的に必要とされている施設であることを物語っています。

令和2年度は、withコロナの「新しい生活様式」の下であっても、県民の皆様の様々な「知りたい」に応え続けていけるよう、改めて、幅広い分野の図書や資料を収集し、他の図書館と連携しながら県全体の図書館サービスの向上に努めて参りたいと考えておりますので、この年報をご一読いただいて、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月

徳島県立図書館長 野々瀬 由佳

目 次

I	運営の基本方針	1
	令和2年度重点事業	1
II	令和2年度事業計画	2
	令和2年度図書館費予算（当初）の状況	7
	徳島県立図書館資料収集方針	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	10
III	令和元年度事業報告	14
	1 企画振興課関係	14
	2 調査相談課関係	15
	3 資料課関係	17
	4 図書館システム関係業務	19
	5 他機関との連携事業ほか	19
	6 諸統計	24
IV	管理	26
	1 組織機構・職員	26
	2 施設・設備	27
	3 沿革	28
	4 歴代館長	29
V	令和元年度行事記録	30
VI	電子書籍閲覧サービス	35
	データで見る徳島県立図書館の現状	37
	徳島県内市町村立図書館一覧	38
	徳島県立図書館案内図	39
	開館時間・休館日	39
	付録：徳島県立図書館サービス向上目標（第3期）～県立図書館サービスの新たな展開～	
	および数値目標	1～4

I 運営の基本方針

(1) 図書館法とユネスコ公共図書館宣言の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。

また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。

(2) 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。

また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。

(3) 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。

また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。

(4) 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。

(5) 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。

(6) 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

令和 2 年度 重点事業

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に的確に対応し、県全体としての図書館サービスの向上を図るため、行動指針「一人でも多くの人へ“図書館サービス”の提供を」のもと事業を進め、一歩先の図書館を見据えた「知の拠点」事業を引き続き推進する。

(1) 図書館「知の拠点」事業の実施

「子どもの読書習慣をはぐくむ図書館」「デジタル機器も活用した知的探究を応援する図書館」「市町村立・学校図書館をしっかりとサポートする図書館」「専門性の強化」を目指す。

(2) 県の中核図書館としての図書館資料の収集・整備・提供

- ・県内外の図書館・関係機関との連携機能の強化
- ・子どもの読書活動の推進、子どもの本の資料センター的機能の充実
- ・徳島に関する幅広い資料の収集・充実
- ・地域資料のデジタル化の推進、デジタルアーカイブ閲覧システムの拡張と地域資料提供の利便性向上
- ・電子書籍閲覧サービスの充実

(3) 県民のさまざまなニーズや課題解決の支援

- ・知のバリアフリー実現に必要な資料や機器、サービスの整備・充実
- ・子育て支援、行政支援、医療・健康情報等の収集・提供
- ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実

Ⅱ 令和２年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
企 画 振 興 担 当	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年１回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 (書面 評決) 研修会 年３回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。 職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力車の運行	県内図書館間協力のため、協力車等により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	毎 週	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等を行う。
	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団体・学校等	年 間	来館して直接選択してもらい、一括貸し出しをする。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を１セット6～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間２ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車等で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて学術調査及び研究を行い、文化の推進及び地域貢献に寄与する。	海陽町	調 査	12学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調 査 相 談 担 当 へ 調 査 し て	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物（新聞・雑誌、年鑑、年刊、統計書、白書、政府刊行物、官報等）を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用につとめる。	一 般	年 間	館内利用者及び県内外からの複写申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実をはかる。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらう。最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考図書の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考図書の収集、整備に努め、利用に供する。	一 般 図 書 館	年 間	新刊情報誌等により、選書、収集する。
	電子書籍閲覧サービス	課題解決等に役立つ電子書籍を提供する。	一 般 図 書 館	年 間	館内端末とインターネットで個人に提供する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	オンラインデータベースを活用し、高度な調査研究に応える。	一 般	年 間	契約データベースの閲覧専用端末を設置。可能なものはプリントアウトに応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
	レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
（調 査）	検 索 コー ナーの管 理・運営	来館者の自主的な調査研究 を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・デジ タル画像閲覧端末を設置 し、各種コンテンツを提 供する。
	インターネ ット端末の 一般開放	調査研究や知的創造などに 欠かせない電子文献の収集 を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧で きる端末を設置し、Web情 報の利用に供する。
調 査 相 談 担 当 （ 郷 土 ）	郷土資料の 充実と整理	郷土に関する資料要求に応 えるため、郷土に関する資 料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクション として一般蔵書と区別し て保存し、利用に供する。
	地方行政資 料の収集と 整理	国、県、市町村への働きか けを強めて、官公庁出版物 と地方行政資料の収集整理 に努める。Web版資料につ いても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先 機関等に資料の提供を呼 びかける。Web 版資料の 電磁的記録と利用に関す る許諾を求める。
	調 査 相 談 活動	一般利用者、市町村立図書 館等から寄せられる調査研 究の質問に対して必要な資 料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・ 電子メールによるレファ レンスに対し回答する。
	資料の複写	デジタル化された新聞、郷 土資料等の複写サービスを 行う。	一 般	年 間	デジタルライブラリ画像 閲覧システムによる複写 を行う。
	資料のマイ クロフィル ム化・デジ タル化	調査研究資料として増大す る新聞情報、貴重資料を、 マイクロフィルム化・デジ タル化して整理保存、利用 者に提供する。	一 般	年 間	現在、収集保存している 全国紙地方面を引き続き マイクロフィルム化し、 利用に供する。また、貴 重資料等のデジタル化に 努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の 展示を行い、関心を高め利 用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、 展示資料リストを作成す る。
	郷土用レフ ァレンスツ ールの作成	郷土の事項や人物に関する レファレンス事例データベ ースを作成し、検索ツール として役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録か ら選定したものなどをデ ータ入力する。 また、公 開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料 ・ 児童 当 担 (資 料)	資料の収集 と整理	一般貸出資料の選択・収集・ 整理を行う。	一 般	年 間	新刊情報により選書し、 発注、受け入れ・貸し出 しを行う。
	資料の配架 と保存	開架図書の利用を促進し、 書庫内資料の速やかな出納 を容易にする。	一 般	年 間	オープンスペースと書庫 の資料を適正に配列する。
	予約（リク エスト）制 度	利用者の希望する資料の予 約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インターネ ットで予約を受け処理す る。
	視聴覚資料 の収集と整 理	C Dの収集・整理を行う。	一 般	年 間	C Dブックを収集し、貸 し出しする。（音楽C Dは 寄贈のみ収集）
	障がい者及 び高齢者用 資料の収集 と整理	障がい者や高齢者のための 資料を収集する。	障がい者 高 齢 者	年 間	大活字本やD A I S Yを 収集・整理し、貸し出し を行う。また、据置型・ 携帯型拡大読書器、活字 自動読み上げ機、プレク ストークを設置している。
	対 面 朗 読	目の不自由な方に、資料を 朗読する。	目 の 不 自 由 な 方 等	年 間	来館のうえ、対面朗読協 力者が朗読する。
	郵 送 貸 出	障がいのため、来館が困難 な利用者に、郵送による貸 し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、文書等で申し込みを 受け付け、図書館資料を 郵送する。
	督 促	期限を過ぎても返却しない 利用者に対して督促通知を 行い、資料の効率的運用を 図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通知 を行う。
	ベストセラ ー寄贈事業	予約者が多いベストセラー 本の寄贈をお願いし、予約 待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや館 内にリストを掲示し、寄 贈していただく。
	貸出、利用 者登録	資料の貸し出しと貸出利用 者を登録を行う。	一 般 児 童	年 間	貸し出しは、県内在住者、 在勤者、在学者に対して 10冊22日間。（貸出日を含 む）。

課	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
	図書の展示	テーマにそった一般貸出資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
資 料 ・ 児 童 担 当 (児 童)	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話CDなどを収集整理する。	0 歳 ～ 高 校 生、 一 般	年 間	新刊情報により選書し、発注、受け入れ、保存を行う。
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0 歳 ～ 高 校 生、 一 般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者（機関）、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	0 歳 ～ 高 校 生、 一 般、図 書 館、関 係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援 学校図書 館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの 読書活動 推進関係 者、 図 書 館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらう。	乳 幼 児 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどを行う。（月2回はボランティアによる）
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介すると共に、こどもの本コーナーの広報をする。	0 歳 ～ 中 学 生、 一 般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展示を行い関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	0 歳 ～ 中 学 生、 一 般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
そ の 他	とくしまネットワーク図書館システム等の管理運営	コンピュータ委員会を中心に、「とくしまネットワーク図書館システム」、図書館ホームページなどの管理運営を行う。		年 間	コンピュータシステム系の維持・管理。 マーク登録、蔵書点検作業、ホームページの管理運用などを行う。

令和 2 年度図書館費予算（当初）の状況

（単位：千円）

事 項 名	令和 2 年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	45,361	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
県立図書館 「知の拠点」事業	45,500	一般図書購入費 子どもの本充実費 児童図書購入費 電子書籍コンテンツ契約費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	400	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4,173	コンピュータ関係経費 (第 6・7 期図書館システム修繕関連経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	807	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	2,468	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金
計	98,709	

徳島県立図書館資料収集方針

I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

＜郷土資料の収集＞

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、貸出用を収集する。

＜参考資料の収集＞

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 辞典 | 7 年表 |
| 2 百科事典 | 8 地図帳 |
| 3 専門辞典 | 9 書誌 |
| 4 人名（伝記）事典、地名事典 | 10 索引 |
| 5 便覧（ハンドブック） | 11 抄録 |
| 6 図鑑 | 12 統計書 |

＜児童資料の収集＞

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

＜視聴覚資料の収集＞

- 1 市販されている録音図書（カセット、CD等）、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

＜新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集＞

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準（昭和63年4月1日制定）」によるものとする。

＜電子書籍の収集＞

辞典・図鑑など調査研究に役立つ資料や郷土資料、図書館の設定したテーマに沿った資料を収集する。

＜マイクロフィルムの収集＞

徳島県に関連するものを収集する。

＜特別集書の収集＞

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【 趣 旨 】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐えうる資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。

4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。但し、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。但し、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く選ぶ。著名な文学作品やその関係書については、精選する。
3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを選ぶ。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を選ぶ。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く選ぶ。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改訂される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。

- (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
- (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
- (3) 個人著者等が徳島出身の資料
- (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
- (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
- (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌広報、リーフレット
- (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
- (8) 徳島で発行される同人雑誌
- (9) 徳島を舞台にした文芸作品
- (10) タウン誌、ミニコミ紙
- (11) 観光パンフレット、イベントちらし
- (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
- (13) 徳島の地図類
- (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの

2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。

3. 一般雑誌、多巻ものの一部（1巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。

4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

6 児童資料

1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。

- (1) 児童図書
- (2) 紙芝居
- (3) ヤングアダルト向けの図書
- (4) 児童対象の録音図書など（CD）
- (5) 児童向きの逐次刊行物

2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する

- (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
- (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
- (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。

3. 収集の制限

原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。

- (1) 形態
 - ・散逸しやすいもの
 - ・組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・著しく耐久性に欠けるもの
- (2) 内容
 - ・受験用参考書、問題集
 - ・商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
 - ・戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（CD、カセット）

附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する

Ⅲ 令和元年度事業報告

1 企画振興課 関係

図書館の維持管理及び職員の人事、服務に関する事務を執行したほか、文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

(1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を 1月23日に開催した。

(2) 協力関係業務

協力車と配送による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸し出しを行った。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

- ① 協力車と配送による援助・協力活動を行った。延べ巡回日数 226 日 延べ配送日数 58 日

(ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 17,669 冊

(イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5 町

協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 2,431 冊

- ② 相談業務を実施した。

対象 市町村立図書館 27 館、図書館未設置町 5 町

- ③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 27 校 協力貸出（リクエスト） 貸出冊数 3,308 冊

- ④ 団体貸出の実施（職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。）

利用団体数 5 団体 貸出冊数 484 冊

- ⑤ 読書会文庫の貸出（1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。）

利用団体数 10 団体 貸出冊数 658 冊

- ⑥ 「まなびの森」講演会（生涯学習支援事業）を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 11 講演 参加人数 514名

- ⑦ 総合学術調査を海陽町において、令和元年8月2日から12日まで、11学会11班が実施した。

- ⑧ 実務担当者会を開催し、協力通信 No.256～261を発行した。

■ 協力車の巡回状況

(平成22年4月1日から県内すべての市町村に巡回開始)



◎：協力車等巡回配送対象市町村立図書館（19館…自治体内の中心館）

□：協力車巡回配送対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調査相談課 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、343,970冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナー等には、雑誌484タイトル（購入282：うち28は雑誌スポンサー制度、寄贈202）、新聞51種（購入32、寄贈19）、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し出しも行った。

① 資料購入費（備品費）2,133,897円で、年鑑、白書等253点を購入した。

② 資料購入費（需用費）5,290,982円で、雑誌3,536冊、新聞32種、官報を購入した。

③ 寄贈資料は年鑑・年報・統計書類335冊、雑誌2,396冊、視聴覚資料7点を受け入れた。

寄贈新聞は 19 種であった。

- ④ 製本費 170,476 円で、官報 68 冊の製本を行った。
- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、『徳島県内公共図書館購入雑誌・目録・所蔵新聞目録 2019 年版』を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館購入雑誌一覧」を公開した。
- ⑥ 県立図書館応援事業として平成21年度から雑誌スポンサー事業を実施し、令和元年度は、13 団体より28 誌の提供があった。
- ⑦ 雑誌のバックナンバーを用いたミニ展示を一般資料コーナーで行った。
- ⑧ 電子コピー機による複写枚数は、46,887 枚（白黒 45,354 枚、カラー 1,533 枚）であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 4,393,751 円で 参考図書 349 冊、48,924 円で 特別集書（橋と川に関する資料）を 17 冊購入した。
寄贈資料は、参考図書 125 冊、特別集書 5 冊であった。
- ② 電子書籍 471 冊、4,999,919 円を購入し、電子書籍閲覧サービスを行った。
- ③ 参考資料数は 67,996 点であり、そのうち参考資料コーナーには 24,258 冊を開架した。特別集書数は 6,788 冊で特別集書コーナーに 4,370 冊を開架した。
- ④ 参考質問件数は 11,061 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 638 件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 42 件、県議会・行政機関からの参考質問は 13 件）、所蔵検索等の資料案内件数が 10,423 件であった。
- ⑤ 資料の探し方についての〈調べものナビ〉を配布した。
- ⑥ 資料の相互貸借は、他館からの借り受けが 124 件 166 冊、他館への貸し出しが 593 件 1,059 冊で、合計 717 件 1,225 冊であった。（協力車等による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑦ DVD-ROM版、CD-ROM版のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末 3 台で、「聞蔵」等のオンライン・データベースを端末 2 台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は 5,570 枚（白黒 5,556 枚、カラー 14 枚）であった。
- ⑧ 利用者用インターネット端末2台の利用は 237 件であった。
- ⑨ 県立図書館の参考図書の新着案内を月 1 回「とくしまネットワーク図書館」に掲載し、ホームページで公開した。
- ⑩ 「飲食店をはじめよう」展をはじめ、ビジネス支援や健康応援に関するミニ展示を計 5 回行った。
- ⑪ 県内企業支援団体の協力を得て、経営者向け研究会、講演会、相談会のちらしを収集し、〈しごと応援コーナー〉の一角に設置した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）788,530 円で、図書 401 冊、CD 2 枚を購入した。
- ② 213,400 円で新聞等のマイクロフィルム 4 巻と縮刷版PDF変換済データ1式を購入した。
- ③ 委託料 36,575 円で貴重資料 2 点のデジタル化を行った。

- ④ 資料購入費（需用費）89,182 円で、逐次刊行物 4 タイトル 94 冊と郷土新聞 1 タイトルを購入した。
- ⑤ 寄贈資料：図書 629 冊、逐次刊行物 2,264 冊、CD 4 枚、DVD 25 枚、BD 10 枚を受け入れた。
- ⑥ 製本費 205,186 円で、新聞等 5 タイトル 37 冊の製本を行った。また、54,108 円で 15 冊の修理製本を行った。
- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 501 人、複写 8,889 枚であった。
- ⑧ 研究室1：35 件 35 人、研究室2：0 件 0 人、撮影室：7 件 7 人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版PDF ファイルをデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで利用に供した。
- ⑩ Web 上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存した。
- ⑪ 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第13号を作成し、館内配布、当館ホームページで公開した。
- ⑫ 「藍 阿波藍日本遺産へ」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブースで計12回行った。また、徳島大学附属図書館との共催展示「第29回徳島大学附属図書館学術講演会 資料を未来に繋ぎたい ～デジタルアーカイブの可能性～」を開催した。

3 資料課関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体への充実したサービスの向上を図った。

(1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 17,719,741 円で、一般資料コーナー用図書8,498 冊 17,251,459 円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 77点468,282 円（一般用CD 57 タイトル、DAISY 20 タイトル）をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料 920冊を受け入れ、整理した。
- ③ 令和元年度末の一般資料数は 760,546 冊（視聴覚資料含む）である。一般資料コーナーに約 20万5千冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数
6 諸統計（24ページ）参照
- ⑤ 一般資料のリクエスト（予約）は 19,498 件であった。
- ⑥ 好評だった「こども読書手帳」に続き「大人版 読書手帳」を3種類 100 部配布し、ホームページからダウンロードできるようにした。
- ⑦ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 479 冊、一般用視聴覚資料113 点、DAISY 9枚であった。閲覧室には、活字による読書が難しい人がデジジー図書を利用できる専用端末（ブレストーク）や、据置型拡大読書器を設置し、読書環境を整えている。また、卓上型対話支援システム（コミュニケーション）をカウンターへ配置し、聞き取りやすさを補助して、利用者との円滑なコミュニケーションがはかれるようにしている。

- ⑧ AVコーナーでは、CDデッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。
- ⑨ 「しごと応援コーナー」において、就職・起業、会社実務、経営・雇用などに関する図書を紹介、貸し出した。
- ⑩ 「セカンドライフ応援コーナー」において、シニア世代に身近な課題をテーマに資料紹介、ちらし・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑪ 平成21年度から開始した県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、8 冊の寄贈を受けた。
- ⑫ ミニ展示を、一般資料コーナー検索端末機横の展示スペースにおいて計12回行い、資料の利用促進を図った。

(2) 児童関係業務

- ① 資料購入費 6,182,742円（うち〈こどもの本充実枠〉1,999,125円）で、児童関係図書 3,770 冊、洋書 162冊、紙芝居58巻を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費は278,051円で、新聞 4 紙、雑誌を37タイトル378冊を購入し、整理した。
- ② 寄贈資料として図書318冊、洋書 2 冊、紙芝居 1 巻、マルチメディアデジター 9 点、雑誌91冊を受け入れ、整理した。
- ③ こどもの本コーナーに約48,000冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約3,900冊を開架図書として配置した。
 コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。
 また、子育てに関する図書約1,200冊と雑誌11誌、赤ちゃん絵本約1,000冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた、子育て支援図書コーナーの充実を図った。
- ④ 貸し出しとあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、なお一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。
- ⑤ 児童関係資料のリクエスト（予約）は、4,685件であった。
- ⑥ 学校図書館訪問相談を、特別支援学校 8 校に行い、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。
- ⑦ 読み聞かせ団体等89団体に対して、紙芝居舞台など読み聞かせ・おはなし会用の備品132点を貸し出した。
- ⑧ こどもの本コーナー紙芝居架上で、月ごとにテーマを決めて資料展示を行った。また、折に触れてミニ展示をのべ29回行った。
- ⑨ 子どもの読書に関する研修会・行事
 - 「初めての方のための読み聞かせ講座」 6月9日 参加者：18名
 講師：渡邊美恵（絵本専門士、徳島県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ）
 初めて子どもたちに読み聞かせをされる方、してみたいと思っている方対象に、絵本の読み聞かせ、絵本の持つ特徴などについての講義とワークショップを開催した。
 - 令和元年度子どもの読書研修会 2月16日 参加者：33名
 「大学図書館の中の児童図書室―地域に開かれた時間と空間―」
 講師：佐々木宏子（鳴門教育大学名誉教授）

絵本心理学や絵本データベースなど様々な活動をされている、鳴門教育大学名誉教授 佐々木宏子先生が、子どもと絵本について講演。

○ 行事

赤ちゃんと楽しむおはなし会（毎月第2木曜日）	年間11回 参加者：延べ 198名
おはなし会（毎月第2・4日曜日）	年間22回 参加者：延べ 422名
TRCによるおはなし会	年間 1回 参加者：延べ 37名

赤ちゃんと楽しむおはなし会関連企画として、助産師さんによる子育てについてのアドバイス・相談の会「助産師さんとはなそう！」を毎奇数月に開催した。夏休み出前講座として、徳島県防災人材育成センター活動推進員の工藤素子氏による「まなぼうさい教室」を開催し、地震・津波の特徴や家庭・地域でできることを解説してもらった。また、親子で楽しむクリスマスおはなし会、あわっ子文化大使による司書体験講座（とくしまの民話の絵本と紙芝居の読み聞かせ）、文化の森連携事業「図書館探検隊」「おはなし会」を開催した。

⑩ 広報

『こどもの本コーナーりようあんない』を常備し、来館者に配布した。

また、毎月1回『こどもの本コーナーだより』を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の県立図書館等に配布した。ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。

4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成12年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、随時更新作業を行っている。

(2) コンピュータ委員会

各係より選出された9名でコンピュータ委員会を構成し、「とくしまネットワーク図書館」システムの運用などについての検討・作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び職員端末用ネットワークシステムの更新・運用作業を行った。情報セキュリティの管理にも取り組んだ。

12月1日に資料検索講座を開催した。参加者は3名であった。

マイナンバーカードを図書館の貸出カードとして利用する実証事業を引き続き行った。

(3) システム担当者会（随時）

文化の森6館の担当者の会議に出席。各館業務システム及び文化の森情報システム運用のための各種作業を行った。また、更新およびデジタルアーカイブシステムについての検討や各館の情報交換などを行った。

5 他機関との連携事業ほか

(1) 課題解決サービス

○健康・医療情報の提供

徳島県薬剤師会主催の「まちのお薬相談室」を平成28年6月より図書館1階で月2回 実施し、令和元年度は131件の薬効や副作用についての相談が寄せられた。

平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、パンフレット類を配架している。

11月26日から12月22日には、県保健福祉部医療政策課の臓器移植普及啓発の一環として「臓器移植普及啓発」の展示を、令和2年3月3日から22日までは、県保健福祉部保健福祉政策課の自殺対策啓発活動事業（パネル展）を行った。また、徳島大学附属図書館蔵本分館の医療関係の展示のポスターを掲示した。

○しごと応援コーナーの充実

平成23年9月に設置した「しごと応援コーナー」には、仕事に関する図書約800冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島などと連携して、令和元年度は、203点の就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報などをも置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集・提供も行い、関係機関との連携強化を図った。また、ビジネス支援として、県内企業支援団体の協力で、企業支援関係や経営者向けセミナー等のチラシ・パンフレット類を配架している。

○行政支援

県議会事務局の依頼により、テーマ展示の本や調査レポート用の資料を選んで提供した。

(2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置している。令和元年度は、36件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する9件のチラシを配布した。また、8月3日に、徳島県防災人材育成センターの出前講座「まなぼうさい教室」を開催した。

(3) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。（別表）

(4) 文化の森連携事業

文化の森全館で5月5日に「こどもの日フェスティバル」、8月18日に「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森 大秋祭り」、2月11日に「文化の森ウィンターフェスティバル」を実施し、図書館では「おはなし会」「図書館探検隊」「しおりをつくろう」「大人のためのおはなし会」などを開催した。

(5) 大学図書館との連携

平成29年3月28日に締結した「国立大学法人徳島大学、国立大学法人鳴門教育大学、徳島県及び徳島県教育委員会による図書館活動に関する協定」に基づき、以下の事業が実施された。

1. 交換展示ほか

- ① 平成30年度に県立図書館で実施した「地図の中の徳島」の巡回展示が、令和元年10月1日から11月29日まで、鳴門教育大学附属図書館で、令和2年2月7日から3月11日まで、徳島大学附属図書館で実施された。
- ② 県立図書館「電子図書館」プラットフォームからの徳大図書館及び鳴教大図書館がデジタル化した画像データベースへのリンクアクセスを継続した。

2. 図書館職員の交流研修

- ① 徳島県図書館職員第1回研修会に、鳴門教育大学附属図書館から職員1名の参加があった。
- ② 図書館職員の相互訪問研修の実施
9月11日に、鳴門教育大学附属図書館で「大学図書館における児童図書室の取り組みについて」の研修があり、9名の職員が参加した。
- ③ 徳島大学附属図書館で11月22日に開催された「令和元年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議」に、職員、1名がオブザーバ参加した。

3. 徳島大学附属図書館の、学術講演会の実施への協力

- ① 11月21日に徳島大学附属図書館で開催された学術講演会「資料を未来に繋ぎたい～デジタルアーカイブの可能性～」を徳島市立図書館と共に共催、講演会で目録を配布した。
- ② 共催展示として、県立図書館2階ブラウジングコーナーで、10月23日から令和2年1月5日まで「第29回徳島大学附属図書館学術講演会共催展示 資料を未来に繋ぎたい～デジタルアーカイブの可能性～」のミニ展示を開催した。

4. 平成28年8月から、鳴門教育大学附属図書館と徳島県立図書館による相互貸借を実施しており、令和元年度は、貸出171冊、借り受け14冊だった。

5. その他

県立図書館で、各館の利用案内やイベントのチラシの配布や、各館のポスターの掲示を行い、また、学術講演会の案内や大学の月刊誌を県下の市町村立図書館へ送付した。

(6) 四国地区公共図書館協議会

四国地区公共図書館協議会の事務局として、役員会を書面開催、実務担当者会を令和元年7月26日に開催し、終了後、図書館見学を行った。また、「四国の公共図書館 2019」を作成、各県立図書館にCD-ROMで配布した。

◆ 令和元年度刊行物

- | | |
|----------------|----------------------|
| ①令和元年度 年報 | 350 冊 (R1.6.1 発行) |
| ②令和2年度図書館カレンダー | 30,000 枚 (R2.2.1 発行) |

講師の派遣

期 日	会 場	講座内容等	派 遣 職 員	参加者
7月3日	県立二十一世紀館	シルバー大学校大学院講義	水上英俊・田村加代・松原美和・赤嶺章太郎	29
7月31日 8月7日 8月20日	博物館	きょうりゅうを作ろう	桂敦子・吉本満里	48 72 56
8月7日 9日	県立二十一世紀館 県立図書館	あわっ子文化大使「図書館司書体験講座」	山本みち・立石忠徳 松原美和	12
8月8日	県立図書館	四国大学生 見学 「図書館サービス概論」受講生	宇山博子・田村加代	6
8月16日 20日 21日	県立図書館	教職員初任者研修 「館内整理作業・レファレンス業務・調べ学習の実習」	生駒佳也・小松真幸 朝日康元・今井順子 松原美和・中火保江 桂敦子	4
10月1日	徳島県立障がい者交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	田村加代・岩代友紀	13
11月14日	パシフィコ横浜アネックスホール	「徳島県立図書館の電子書籍閲覧サービス」(第21回図書館総合展)	水上英俊	192
12月3日	徳島県立障がい者交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	今井順子・北本直子	13
1月12日	県立図書館	文理大学生 見学 「図書館サービス概論」受講生	生駒佳也	1
2月15日	美波町コミュニティセンター	とくしま“ひと・まち”づくり実践講座「互いのつながりを大切に」	生駒佳也	69

インターンシップ

	学 校 名	日 時	参加者	内 容
1	静岡文化芸術大学	9月3日～6日	1	・児童サービス、レファレンスサービス、情報支援担当業務の説明・実習 ・図書の受入、整理 ・書庫入れ準備 ・コーナーの図書整理、展示図書の集荷等 ・企画振興課担当業務の説明
2	川内中学校	10月2日～3日	4	
3	池田高校	10月16日～17日	1	
4	城ノ内中学校	10月30日～31日	4	
5	城西高校	11月6日～7日	2	

学校教育との連携－学校の授業・遠足・見学等による図書館利用－

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	津乃峰小学校 2年	5月 8日	自由閲覧	19
2	千代小学校 1・2年	5月21日	自由閲覧	37
3	鴨島小学校 3年	5月30日	見学・おはなし会・自由閲覧	82
4	上八万小学校 2年	5月31日	見学・おはなし会・自由閲覧	51
5	津田小学校 2年	10月16日	見学・おはなし会・自由閲覧	84
6	大内小学校	11月 1日	おはなし会・自由閲覧	91
7	助任小学校 2年	11月 6日	見学・おはなし会・自由閲覧	165
8	宮井小学校 2年	11月 2日	見学・おはなし会・自由閲覧	16
9	八万幼稚園	11月19日	見学・おはなし会・自由閲覧	42
10	高原小学校 2年	12月13日	見学・おはなし会・自由閲覧	34
11	神領小学校	2月21日	見学・おはなし会・自由閲覧	12

参考：図書館資料充実費内訳（製本費等を除く）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
○ 調査課				
(1) 逐次刊行物	7,435,988	7,160,454	7,169,836	7,424,879
資料購入（備品費）費用	2,290,693	2,003,522	1,977,185	2,133,897
点数	244	232	209	253
資料購入（需用費）費用	5,145,295	5,156,932	5,192,651	5,290,982
雑誌種数	287	286	285	282
新聞紙数	32	32	32	32
官報	1	1	1	1
(2) 参考資料（備品費）	3,546,504	3,783,910	3,306,480	4,442,675
参考図書費用	3,424,596	3,689,235	3,255,614	4,393,751
冊数	304	337	261	349
特別集書費用	121,908	94,675	50,866	48,924
冊数	31	35	19	17
(3) 郷土資料	1,449,906	1,353,103	1,208,341	877,712
資料購入（備品費）費用	1,359,386	1,263,225	1,119,578	788,530
図書冊数	691	575	471	401
CD等点数	16	6	46	2
資料購入（需用費）費用	90,520	89,878	88,763	89,182
雑誌種数	5	5	4	4
新聞紙数	1	1	1	1
○ 資料課				
(1) 貸出用図書（備品費）	17,788,271	17,804,626	18,462,351	17,719,741
一般資料図書購入費	17,252,578	17,304,815	17,973,681	17,251,459
冊数	8,722	8,820	9,008	8,498
視聴覚資料購入費	535,693	499,811	488,670	468,282
点数	91	82	77	77
団体貸出用購入費	1,846,023	1,841,396	1,840,298	1,826,710
点数	204	289	199	202
(2) 児童関係資料	4,182,952	6,417,383	6,346,198	6,460,793
資料購入（備品費）費用	3,924,562	6,144,134	6,137,981	6,182,742
児童図書冊数	2,444	3,729	3,732	3,932
紙芝居巻数	54	54	77	58
CD等点数	0	1	0	0
資料購入（需用費）費用	258,390	273,249	208,217	278,051
雑誌種数	38	38	37	37
新聞紙数	4	4	4	4
図書資料購入費合計	36,249,644	38,360,872	38,333,504	38,752,510
図書購入費（備品費）	30,755,439	32,840,813	32,843,873	33,094,295

6 諸 統 計

○現有図書資料（令和2年3月31日現在）

〈単位：冊〉

区分 分類	館 内	館 外	こ ども	計	前年度末現在
0：総 記	123,721	1,356	7,559	132,636	130,519
1：哲 学	60,925	2,115	2,088	65,128	64,895
2：歴 史	119,730	3,608	7,609	130,947	130,727
3：社会科学	317,078	5,276	11,467	333,821	331,298
4：自然科学	104,634	3,828	14,664	123,126	122,327
5：技 術	137,479	2,528	6,109	146,116	144,303
6：産 業	84,887	1,235	2,842	88,964	87,750
7：芸 術	135,989	3,843	17,396	157,228	155,541
8：言 語	24,120	809	2,733	27,662	27,428
9：文 学	232,662	28,799	50,313	311,774	313,052
童 話	9	1,780	14,852	16,641	16,743
絵 本	108	2,437	73,414	75,959	74,730
そ の 他	59,202	1,055	4,316	64,573	64,126
計（冊）	1,400,544	58,669	215,362	1,674,575	1,663,439

○電子書籍受入タイトル数（令和2年3月31日現在）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	合 計
206	286	466	958

○利用者登録者数

区 分	
年間館内登録者数	3,089人
元年度末有効登録者数	*160,186人
団 体 貸 出（団体）	5 団体
読 書 会 文 庫（団体）	10 団体

*貸出利用可能な登録者数を記載

○県外相互貸借（令和元年度）

		四国内	四国外	国 会 図 書 館	その他	計
貸出	件数	306	284		3	593
	冊数	607	448		4	1,059
借受	件数	64	49	7	4	124
	冊数	86	65	9	6	166

○図書貸出冊数（令和元年度）〈単位：冊〉

区 分		冊 数
個人貸出	図書	521,330
	洋書	2,091
	視聴覚資料	17,803
	逐次刊行物	38,910
	その他	3,733
	小 計	583,867
協力貸出	図書館・図書館未設置 町教育委員会	20,100
	県立学校	3,308
	小 計	23,408
	団体貸出	484
	読書会文庫	658
	小 計	1,142
貸 出 総 数		608,417

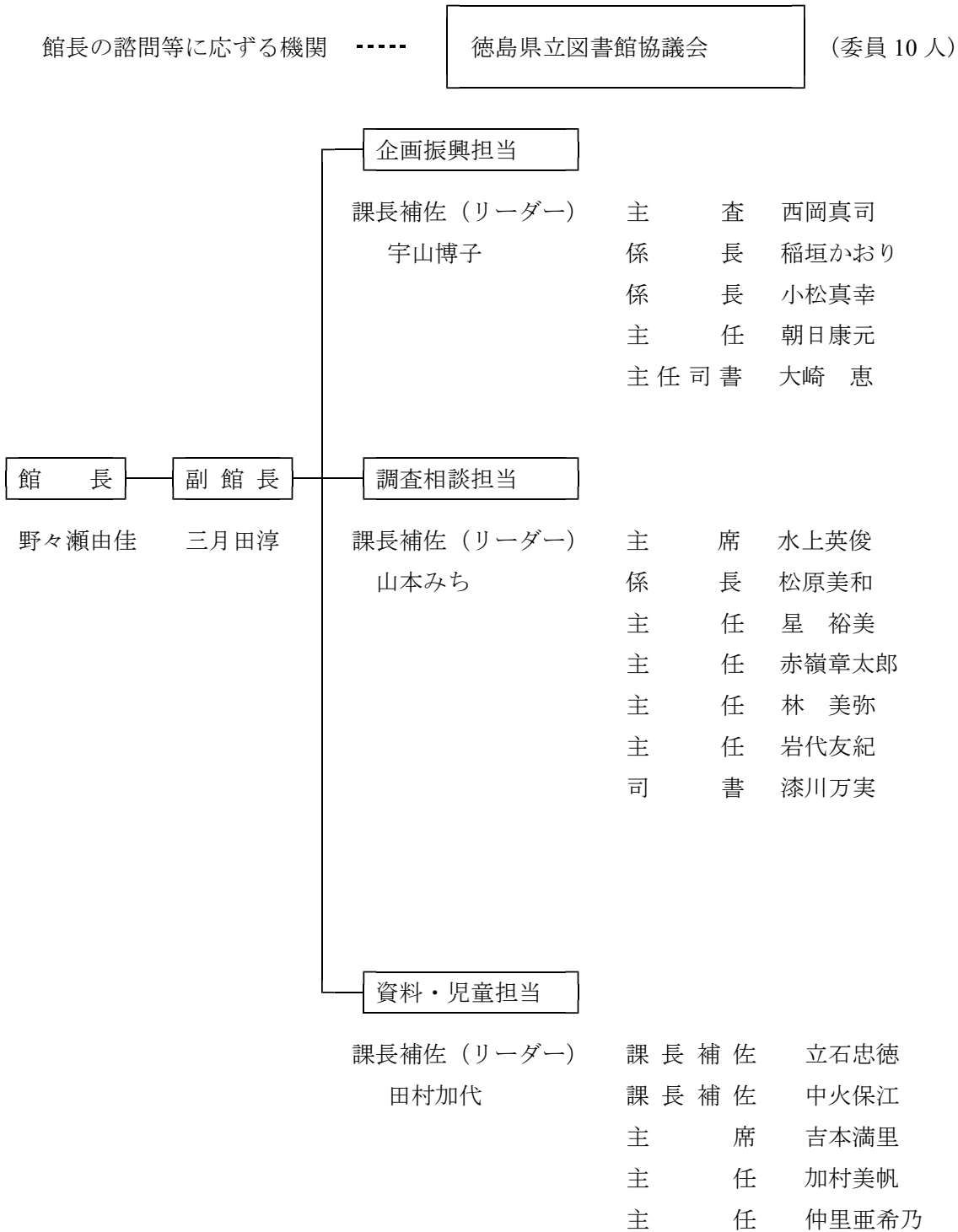
○月別利用状況（令和元年度）

〈単位：日・人・冊・回〉

	開館 日数 (日)	登 録 者		貸 出 利 用 者		貸 出 冊 数		予約・リクエスト		参 考 質 問							
		月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	月 計	日平均	口頭	電話	文書	メール	資料案内	月計	日平均	
4 月	25	262	10	13,951	515	48,378	1,935	2,032	81	26	21	2	9	894	952	38	
5 月	26	246	9	14,471	557	48,322	1,859	2,064	79	23	16	2	8	968	1,017	39	
6 月	25	299	12	15,038	602	51,374	2,055	2,370	95	29	14	5	1	871	920	37	
7 月	25	355	14	15,915	637	53,571	2,143	2,371	95	27	20	2	6	859	914	37	
8 月	26	425	16	17,090	657	57,540	2,213	2,421	93	35	22	3	9	1,172	1,241	48	
9 月	24	246	10	14,389	600	48,382	2,016	2,232	93	14	22	0	11	820	867	36	
10月	25	198	8	14,479	579	49,028	1,961	2,320	93	28	15	0	5	896	944	38	
11月	25	203	8	14,224	569	47,140	1,886	2,267	91	32	18	1	14	808	873	35	
12月	23	196	9	13,007	566	44,133	1,919	2,177	95	22	15	1	6	743	787	34	
1 月	18	205	11	11,821	657	40,459	2,248	1,953	109	24	15	1	7	714	761	42	
2 月	20	221	11	12,648	632	44,132	2,207	2,149	107	26	23	6	9	795	859	43	
3 月	25	233	9	14,836	593	51,408	2,056	2,512	100	17	16	2	8	883	926	37	
合計	287	3,089		171,869		583,867		26,868		303	217	25	93	10,423	11,061		
平均	24	257	11	14,322	599	48,656	2,034	2,239	94	25	18	2	8	869	922	38	

IV 管 理

1 組織機構・職員（令和2年4月現在）



2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182 m²
- ◎ 延床面積 8,989.594 m²
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (m ²)	用途・分類	面積 (m ²)
<開架スペース> [4,085]		<管理スペース> [1,393]	
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室 (整理作業室)	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフルーング	60
カウンター	55	集会室 (大)	122
こどもの本コーナー	566	集会室 (小)	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室 (2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室 (2)	17
研究室	23	倉庫 (2)	84
撮影室	17		
エントランスホール	204	<機械・設備スペース> [693]	
ロッカーコーナー	69	機械室 (5)	575
その他	389	電気室	92
<収蔵スペース> [1,843]		ハロンガスボンベ室	26
館内書庫	1,434	<その他> [975]	
館外書庫	349	1階エントランス	225
貴重書庫	60	その他	750
* 書庫は積層式になっているため、実質 3,626 m ² ある。			

3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 50 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 60 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 70 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 10 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見ー 15 の人・もの・場所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本韋庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 20 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。
平成 27 年 9 月 18 日	文化の森開園 25 周年記念事業を「ヒトガタをめぐる冒険」を 6 館共通テーマとして実施。図書館は企画展「ひとが思い描いたヒト」、「アニメその歴史と未来」展を開催する。
平成 29 年 11 月 5 日	創立 100 周年記念式典・講演会を挙げる。
平成 30 年 4 月 23 日	子供の読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞する。

4 歴代館長

就任年月日					館長		館長事務取扱			
大正	5	年	7	月	26	日		県内務部長	広瀬直幹	
大正	5	年	11	月	6	日		県内務部長	亀井光政	
大正	6	年	3	月	31	日		県学務課長	林恒四郎	
大正	6	年	10	月	10	日		県学務課長	確野千太郎	
大正	10	年	3	月	17	日		司書	岩瀬亀之進	
大正	10	年	3	月	31	日	岩瀬	亀之進		
大正	13	年	12	月	6	日		県学務課長	鈴木省吾	
大正	13	年	12	月	20	日		県内務部長	小島庄吉	
大正	14	年	1	月	9	日		県学務課長	小松本三郎	
大正	15	年	8	月	26	日		県社会教育主事	栖崎善一	
昭和	2	年	2	月	14	日	坂本	章三		
昭和	13	年	9	月	22	日	今田	好太		
昭和	19	年	3	月	22	日		県青少年教育課	三好菊夫	
昭和	19	年	4	月	25	日		県青年教育課長	沖田武雄	
昭和	19	年	6	月	6	日	大岡	谷幹男		
昭和	20	年	4	月	26	日	岡島	幹雄		
昭和	22	年	8	月	31	日	原田	武正		
昭和	24	年	5	月	3	日	蒲居	正信		
昭和	37	年	4	月	1	日	藤上	浩一		
昭和	38	年	4	月	1	日	竹原	俊一		
昭和	44	年	4	月	1	日	喜田	泰臣		
昭和	50	年	4	月	1	日	高井	静雄		
昭和	52	年	4	月	1	日	石堂	廣光		
昭和	54	年	4	月	1	日	高藤	俊夫		
昭和	56	年	4	月	1	日	近岩	佐健		
昭和	58	年	4	月	1	日	岸	二司		
昭和	61	年	4	月	1	日	芝山	正裕		
昭和	63	年	4	月	1	日	山日	博精		
平成	2	年	4	月	1	日				
平成	5	年	4	月	1	日				
平成	7	年	4	月	1	日				
平成	8	年	4	月	1	日				
平成	10	年	4	月	1	日				
平成	11	年	4	月	1	日				
平成	13	年	4	月	1	日				
平成	14	年	4	月	1	日				
平成	15	年	4	月	1	日				
平成	16	年	4	月	1	日				
平成	17	年	4	月	1	日				
平成	18	年	4	月	1	日				
平成	19	年	4	月	1	日				
平成	19	年	5	月	1	日	桑上	村野		
平成	20	年	4	月	1	日				
平成	21	年	4	月	1	日				
平成	22	年	4	月	1	日				
平成	24	年	4	月	1	日				
平成	25	年	4	月	1	日				
平成	27	年	4	月	1	日				
平成	27	年	5	月	1	日	榎	納正		
平成	28	年	4	月	1	日	松	浦豊		
平成	29	年	4	月	1	日	町	田		
令和	元	年	5	月	1	日	野々	瀬由		
							近代美術館長 阿部修三			
							二十世紀館長 中瀬敬一			

V 令和元年度行事記録

1 集会行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
4月26日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	令和元年度役員、 30年度事業報告・決算、 令和元年度事業計画・予算	24
5月5日	こどもの日のおはなし会 (文化の森こどもの日フェスティバル)	おはなし会ボランティアスタッフ	絵本の読み聞かせなど	32
5月17日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	令和元年度役員、読書振興 大会、理事会・総会について	9
5月22日	阿波学会理事会 評議員会	理事 評議員	30年度決算、令和元年度 計画について	理 12 評 25
6月9日	初めての方のための読み聞かせ 講座	講師： 渡邊 美恵 氏	絵本の読み聞かせについて の講義とワークショップ	18
6月14日	第1回徳島県図書館職員研修会	講師： 櫛谷 知己 氏 県立図書館職員	講義 「初任者研修」 「とくしまネットワーク 図書館システムについて」	37
6月21日	令和元・2年度阿波学会総合学 術調査(海陽町)レギュレーション	調査役員・班長 海陽町担当	調査班調査テーマ・内容 の確認、地元との協議、 調査班員、日程について	18
6月26日	徳島県読書振興協議会理事会 総 会	理事 —	役員改選、30年度決算、 令和元年度事業計画、県 下各地の読書推進報告	理 27 総 41
7月5日	第2回徳島県図書館職員研修会	講師： 見目佳寿子氏 橋村 百恵氏 大沢 善和氏	講義 「特色のある小規模図書 館の運営事例について」 事例発表	38
7月26日	四国地区公共図書館連絡協議会 実務担当者会	企画振興課担当	四国の県立図書館の担当 者会	12
8月2日	令和元・2年度阿波学会総合学 術調査(調査地・海陽町)結団 式	役員 海陽町関係者 各班調査員 講師：山下知之 氏	総合学術調査結団式 各班から調査内容の説明 講演：「中世後期阿波南方 における水運と海部湊」	65
8月2日 ～ 12日	令和元年度阿波学会学術調査	各班調査員	海陽町内学術調査	40
8月3日	夏休み出前講座 「まなぼうさい教室」	講師： 工藤 素子 氏	小学3年～6年対象 防災について学び、グッ ズを作成	18
8月7日 9日	あわっ子文化大使 (図書館司書体験講座)	郷土担当 児童担当	図書館司書の専門的仕事 を体験しながら地元への 関心や郷土への愛着を持 ってもらう	12

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
8月18日	夏のおはなし会 (文化の森サマーフェスティバル)	おはなし会ボランティアスタッフ	紙しばいや絵本の読み聞かせなど	33
8月18日	図書館探検隊 (文化の森サマーフェスティバル)	児童担当	小学3年生以上対象 図書館の事務室・書庫など ふだん入れない場所を案内	27
8月27日	えいごのおはなし会 B o o k T a l k o f E n g l i s h	庄野チェン裕子氏	英語の絵本の読み聞かせ や英語の手遊びなど	15
8月30日	徳島県読書振興協議会優良読書 グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書 グループ推薦団体を選考	8
9月12日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和元年度図書館大会及 び研究テーマについて	9
9月13日	阿波学会編集委員会	編集委員	阿波学会紀要63号編集方 針について	9
10月6日	徳島県読書振興大会 (上勝町大会) 福原ふれあいセンター	講師： 横石 知二氏	大会テーマ 「読書で心に彩りを」	98
10月11日	第3回徳島県図書館職員研修会	講師： 尾崎 広志氏 (国立国会図書館)	講義と実習： 「図書館における資料保 存」	24
10月13日	おはなし会スタッフミーティン グ	おはなし会 ボランティア	30年度おはなし会実施状 況について	9
11月3日	あきのおはなし会 (文化の森大秋祭り)	県立図書館おは なし会ボランテ ィアスタッフ	絵本の読み聞かせをはじ め、楽しいおはなしなど	46
11月3日	しおりをつくろう (文化の森大秋祭り)	講師： 今井 順子	型紙に色鉛筆で動物の顔 を描いて、自分だけのし おりを作る。	35
11月10日	つながる読書推進事業 絵本作 家・真珠まりこさん講演会	講師： 真珠 まりこ氏	徳島県教育委員会生涯学 習課と共催で、絵本作家 真珠まりこさんを招き、お はなしと講演を行った。	200
11月14日	徳島県公共図書館協議会 第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	令和元年度図書館大会及び 図書館大会について	8
11月22日	協力業務実務担当者会	市町村図書館職 員ほか	とくしまネットワーク図 書館及び県下の公共図書 館の協力業務・相互貸借 について	32
12月1日	資料検索講座 会場：21世紀館情報文化実習室 県立図書館	講師： 立石 忠徳 小松 真幸 赤嶺章太郎 北本 直子	これが読みたかった！作 家名で探そう～読みたい 作家の著書から評伝・作 品論まで～	3

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
12月 4日 ～ 10日	文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) 会場：近代美術館ギャラリー		県立図書館所蔵の人権関係資料・識字関係資料を展示	278
12月7日	クリスマスおはなし会	四国大学学生グループ	絵本の読み聞かせ、工作、クリスマスの本のブックトーク、工作など	25
1月23日	徳島県立図書館協議会	協議会委員	30年度事業実績について 令和元年度事業の実施状況について 他	22
2月11日	大人のためのおはなし会(文化の森ウィンターフェスティバル)	とくしまお話を語る会「出前の会」	大人のためのおはなし会～昔話で巡る世界のおろか者・りこう者～	43
2月11日	ふゆのおはなし会(文化の森ウィンターフェスティバル)	児童担当	わらべうた、紙芝居、絵本の読み聞かせなど	25
2月16日	子どもの読書研究会	講師： 佐々木宏子氏	講演： 「大学図書館の中の児童図書室」	33
2月16日	おはなし会スタッフミーティング	おはなし会 ボランティア	表彰伝達／2020年度おはなし会実施予定について	16
3月6日	徳島県公共図書館協議会 第3回研究・研修委員会平成	研究・研修委員	来年度の研修会について	9

○ 共 催 集 会 行 事 まなびの森講演会

(年11回：平成21年度より放送大学徳島学習センターと共催)

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
4月20日	シラーの詩『歓喜に寄せて』とベートーヴェン『第九』	石川 榮作 氏	シラーの原詩『歓喜に寄せて』とベートーヴェン『第九』の「歓喜の歌」との関係について	39
5月18日	宇宙の中身を探る	伏見 賢一 氏	宇宙暗黒物質の正体を探る理論と観測装置について	60
6月15日	中世・海部刀が最も栄えた時代背景	大久保喜弘氏	応永末期から天正期に制作された海部刀と時代背景について	64
7月6日	『VS東京』とまちづくりの社会学	矢部 拓也氏	今後の徳島の地方創世・まちづくりの行方について	30
8月31日	阿波弁を発掘する	仙波 光明氏	方言辞典を調べても見つかりにくい語について	58
9月21日	防災・減災と5つの地震	岩佐 恭良 氏	平安時代から昭和時代までの数々の地震について	39
10月26日	「第十堰」周辺の藍作地帯の歴史的景観	金子 茂 氏	「第十堰」周辺の藍作地帯の洪水遺跡と水除け争いについて	48

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
11月16日	四国を描いた伊能図	平井 松午 氏	四国を描いた伊能図を通じて伊能図の成り立ちについて	45
12月14日	歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」に寄せて	河野 稔治 氏	大序的一幕を鑑賞しながら演技法を楽しみ、事件の原因を読み解く	52
1月18日	四国88か所巡礼の旅	松兼 三郎 氏	88か所、別格20番以外の奥の院や番外霊場、霊跡などの現状について	59
2月22日	友愛の記憶を次世代へ	南川 慶二 氏	板東俘虜収容所のドイツ兵と徳島の人々の交流の歴史について	20

展 示 事 業

計 514

期 間	展 示 名	展 示 内 容
4月23日 ～ 6月9日	「読んでみん？みんなのすすめる本ー平成30年度とくしま子どものためのブックリスト100掲載本のPOPとコメント受賞作品」展	平成30年に徳島県教育委員会が募集した「とくしまの子どものためのブックリスト100」掲載本のコメントとPOPを、本とともに展示。
6月11日 ～ 8月4日	時代とともに振り返る 平成のベストセラー	元号が<平成>から<令和>に改元されたことに因み、平成元年から30年までの各年のベストセラーを展示・紹介するとともに、各年に起こったさまざまな出来事を取り上げた本を紹介。
8月6日 ～ 9月29日	「図書委員が選ぶ、オリンピックの本」(徳島県学校図書館協議会高校部会との共同企画展示)	県内高等学校の図書委員が、オリンピックについて、競技や選手を取り上げたお薦めの本を紹介。
10月1日 ～ 11月24日	「そうだ！図書館に聞いてみよう～レファレンスサービスを知っていますか？」	図書館に寄せられた質問の事例から、回答に使用した資料やデータベースを紹介し、図書館でできる「調べもの」について案内。
11月26日 ～ 2020年1月26日	「そうだ！図書館に聞いてみよう～レファレンスサービスを知っていますか？ 郷土編」	図書館に寄せられた質問とその回答の中から、郷土に関するものを取りあげ、レファレンスサービスを案内。調べ物に便利な資料、調べ方のコツも紹介。
2月7日 ～ 4月19日	「さまざまな言語の絵本の比較～にほんご がいこくごになった絵本～」	日本語から外国語に、あるいは外国語から日本語に翻訳され、同じ絵で書かれた日本語版と外国語版を読み比べて絵本の新しい魅力を探る。

交換展示

平成30年度企画展示「地図の中の徳島」展

令和元年10月1日（火）～11月29日（金）

鳴門教育大学附属図書館

令和2年2月7日（金）～3月11日（水）

徳島大学附属図書館

他機関主催展示

期 間	展示名（主催）	展 示 内 容	場 所
11/26～ 12/22	臓器移植普及啓発展 (県保健福祉部医療政策課、徳島県臓器移植コーディネーター)	臓器移植について、多くの方に知っていただくため、臓器移植に関する冊子・図書及びポスター等を展示。	2階一般資料コーナー
2020年 3/3～22	いのちを大切にしよう パネル展 (県保健福祉部保健福祉政策課)	3月の「自殺対策強化月間」に合わせて、自殺予防に関するパネルや「心あたたまるパワーフレーズ」作品及び広報ポスターを展示。	1階南側

令和元年度 ミニ展示

ミニ展示コーナー（検索コーナー横）

期間	テーマ
3/26～4/14	新年度を「新書」で！
4/16～5/26	改元～〈平成〉から〈令和〉へ～
5/28～6/23	没後500年 レオナルド・ダ・ヴィンチ
6/25～7/21	日本初開催！G20大阪サミット
7/23～8/30	徳島県男女協調月間（ときわプラザ紹介）
8/31～9/29	エシカル消費ってなあに？
10/1～10/27	マチアソビ関連展示「小説㊦アニメ」
10/29～11/24	ストップ！ 糖尿病
11/26～12/22	臓器移植普及啓発
12/24～1/26	新年度を「新書」で！
2/7～3/1	『日本書紀』成立1300年
3/3～3/22	心と体を健やかに！

しごと応援コーナー

3/5～5/15	守って活かす！知的財産
5/17～7/17	飲食店をはじめよう
7/19～10/16	副業・在宅ワークのススメ
10/18～1/26	ビジネス書大賞2019
2/7～3/18	企業を知る！CSRレポート展
3/20～	ビジネススキルアップ

郷土資料コーナー

3/19～4/23	活躍する徳島県人 2018年の出版物より
4/23～5/19	ちょっとそこまで
5/21～6/25	徳島の古城
5/21～6/23	藍 阿波藍日本遺産へ
6/26～7/17	徳島名物〇〇
7/19～9/1	徳島×宿題
9/3～9/29	防災
10/1～10/29	徳島たべる？
10/30～11/24	遍路道
10/31～11/24	徳島×アート
11/26～1/26	そうだ！図書館に聞いてみよう－レファレンスサービスを知っていますか？ 郷土編
2/7～3/15	阿波弁じょ
3/17～	活躍する徳島県人 2019年の出版物より

ブラウジングコーナー

2018.9/21～	電子書籍閲覧サービスKinoden
4/2～4/15	新元号「令和」出典『万葉集』関連本
7/1～7/28	藍推進月間
8/5～9/1	図書館マナーアップ
10/23～1/5	第29回徳島大学附属図書館学術講演会 共催展示 資料を未来に繋ぎたい デジタルアーカイブの可能性

ブックトラックによるミニ展示

3/27～4/4	追悼・吉沢久子
4/9～5/15	お弁当
5/17～6/30	新しい時代、新しいことをはじめよう！
6/11～6/23	追悼・田辺聖子
7/2～9/1	夏の料理
9/3～10/16	雑誌で巡る日本の城
9/12～9/23	追悼・安部譲二
10/10～10/22	ノーベル賞
10/18～12/1	秋を食べつくす
11/4～11/13	追悼・眉村卓
12/3～12/15	「博物館所蔵の刀剣」展 関連本
12/3～12/28	年末年始
1/5～3/8	カラダを温めよう！
2/7～2/16	追悼・藤田宜永
2/29～3/8	ウイルス・感染症
3/10～4/15	梅と桜と日本の春

こどもの本コーナー

〇児童・毎月の企画展示	
期間	テーマ
4月	入園・入学の本
5月	さあでかけようの本
6月	おとうさんの本
7月	さあでかけよう（夏）の本
8月	むしの本
9月	おじいさんおばあさんの本
10月	スポーツの本
11月	おいしい秋！
12月	ゆかいなねずみの本
1月	ゆめの本
2月	王子様王女様の本
3月	おめでとう～入学・入園・たんじょうび～
〇児童・ミニ展示	
期間	テーマ
4/18～5/12	子どもたちの読書のために
4/26～5/12	こどもの日
6/11～6/28	絶滅した生き物たち（折り紙展示も含む）
6/21～7/7	たなばたの本
6/21～9/1	令和元年度読書感想文課題図書（小学生の部）
7/9～9/8	恐竜の本
7/19～9/1	戦争の本
7/19～9/1	自由研究・読書感想文の書き方の本
7/19～9/1	防災の本
10/1～10/31	ハロウィンの本
10/4～11/10	真珠まりこさんがやってくる！エシカル・SDGsの本
10/29～11/10	読書について（徳島県読書活動推進月間）
11/12～12/25	クリスマスの本
12/26～1/14	阿波銀寄贈本
1/15～1/26	生命保険協会寄贈本

Ⅵ 電子書籍閲覧サービス

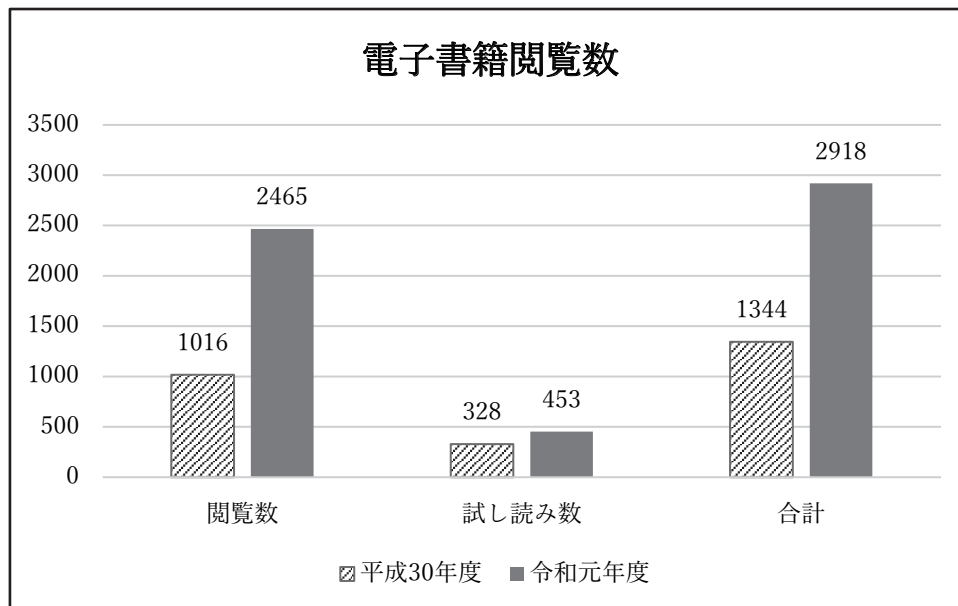
県立図書館では、平成30年度4月から紀伊國屋学術電子図書館KinoDenを利用した「とくしま電子図書館 電子書籍閲覧サービス」を開始し、令和2年度に3年目を迎えた。辞書・事典・図鑑などを中心とした調べものに役立つ課題解決型のリサーチライブラリを目指し、非来館にも対応したサービスとなっている。

令和元年度からは、従来のブラウザで電子書籍を読むスタイルに加えて、アプリでの利用も始まり、利用者が好きなように読書スタイルを選ぶことができるようになっている。令和元年度末の電子書籍の所蔵数は、958タイトルとなっており、紙媒体では収集対象としていない各種資格試験関連資料や、アプリを使うと更に便利に閲覧できる旅行ガイドブックなど、生活に密着したコンテンツも揃えている。

統計を見ると、令和元年度の閲覧数の合計が、平成30年度の2倍を超えており、利用者に電子書籍が浸透してきていることがうかがえる。

電子書籍受入タイトル数(令和2年3月31日現在)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	合 計
206	286	466	958



令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、集客施設の利用制限や、外出自粛要請が広がった。

時間や場所の制約がかからない電子書籍は、自宅に留まらざるを得ないときでも、本を楽しむことや知的欲求を満たす場を提供できるツールとして、これからも拡充させていきたい。



徳島県立図書館

電子書籍 閲覧サービス

パソコンでも
スマホでも



Myライブラリへの登録で

自宅・外出先で
24時間
いつでもどこでも
使用可能

分厚い辞典も
全文検索機能で
読みたい箇所
にすぐアクセス

利用方法

☑ 必要なもの



徳島県立図書館
貸出カード



Myライブラリサービス用
パスワード

パスワードの発行は、カウンターもしくは
お電話で受け付けています

- 1 徳島県立図書館ホームページにアクセス
- 2 左メニュー「Myライブラリサービス」にログイン
(貸出カード番号とパスワードを入力します)
- 3 「とくしま図書館電子書籍閲覧サービス KinoDen」にアクセス
- 4 紀伊国屋書店学術電子図書館 KinoDen にて、電子書籍を読むことができます。

図書館内専用端末（所蔵検索端末、デジタル画像閲覧端末）では
どなたでもご自由に利用できます。

他にも…

Myライブラリサービスを利用すると、こんなことができます

資料の予約、現在借りている本の延長貸出申請、
貸出履歴の保存、マイ本棚（ブックリスト）の作成 など

問い合わせ先

徳島県立図書館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

TEL: (088)668-3500(代) FAX: (088)668-6904

URL: <https://library.tokushima-ec.ed.jp/index.php>



＜データで見る徳島県立図書館の現状＞

年度	H27	H28	H29	H30	R1	
開館日数(日)	288	288	288	288	287	
入館者数(人)	447,338	430,379	420,415	440,303	432,071	* 累計14,530,245 人、H17から平日火～ 金は19:00まで開館
登録者数(人)	3,806	3,687	3,291	3,326	3,089	* 累計160,186人 (有効登録者数)
個人貸出冊数(冊)	610,566	586,348	599,113	588,386	583,867	
協力貸出冊数(冊)	19,996	19,282	19,344	24,424	20,100	* 市町村立図書館等 への貸出(図書館未設 置は教育委員会へ)
高等学校・支援学校図 館協力貸出冊数(冊)	2,650 (22校)	2,197 (22校)	2,918 (21校)	2,238 (24校)	3,308 (27校)	* 県立学校図書館へ の貸出(利用校数)
県外相互貸借冊数(冊) (内、貸出冊数)	1,641 (1,415)	1,473 (1,225)	1,315 (1,102)	1,184 (1,015)	1,225 (1,059)	
リクエスト件数	22,213	21,675	23,597	24,594	26,868	
レファレンス件数	12,679	11,386	10,606	11,693	11,061	
蔵書冊数(冊)	1,194,150	1,205,128	1,193,485	1,184,121	1,186,303	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
購入図書(冊)	12,701	12,550	14,071	13,976	13,456	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
雑誌購入種数	336	331	330	327	324	* 官報1を含む
新聞購入種数	37	37	37	37	37	
資料充実費(千円) 内、図書購入費(千円)	37,155 30,855	37,155 30,855	39,155 32,850	39,155 32,850	39,500 33,136	* H29からは、「知の拠 点」事業を含む
人口1人あたり図書購 入費(円)	40.65	41.07	44.10	44.52	45.33	
人口1人あたり貸出数 (冊)	0.80	0.78	0.80	0.80	0.80	
人口1人あたり蔵書数 (冊)	1.57	1.60	1.60	1.60	1.62	
県人口(人)	759,047	751,280	744,837	737,939	731,069	* 県人口は、「徳島県 推計人口」当該年度4 月1日時点の推定人口

徳島県内市町村立図書館一覧

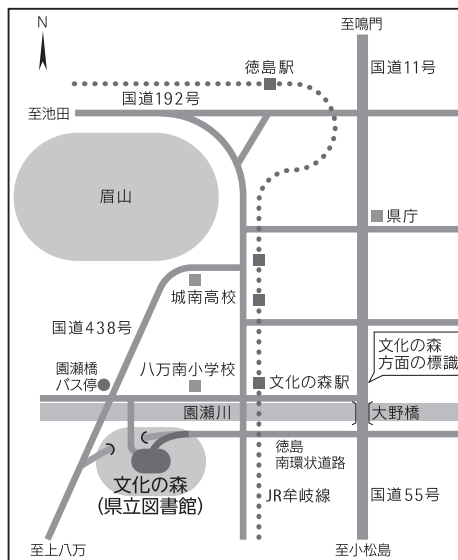
(横断検索可能館)



	図 書 館 名	住 所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00～21:00	第1火曜 (祝日の場合は第2火曜)
2	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00～19:00	火曜・第1金曜
3	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	9:30～18:00	月曜 第3金曜
4	阿南市立 阿南図書館	〒774-0011 阿南市領家町本荘ケ内121	0884-23-2020 0884-23-6814	9:00～18:00 土・日 9:00～17:00	月曜・祝日・月末
5	那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苅屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00～18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	吉野川市立 鴨島図書館	〒776-0010 吉野川市鴨島町鴨島252番地1	0883-22-2004 0883-22-2014	9:00～19:00	火曜 館内整理日
8	山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
9	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00～18:00	水曜・祝日・月末
10	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00～19:00 9:00～18:00 (10～3月)	月曜・月末
11	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00～19:00 9:00～18:00 (10～3月)	月曜・月末
12	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220番地1	088-695-5385 088-695-5515	9:00～19:00 9:00～18:00 (10～3月)	月曜・月末
13	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00～19:00 9:00～18:00 (10～3月)	月曜・月末
14	美馬市立図書館	〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00～19:00	火曜 第3木曜
15	三好市 中央図書館	〒778-0003 三好市池田町サラダ1836-1	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00～19:00	水曜
16	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	10:00～19:00	火曜
17	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30～18:00	月曜・月末
18	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	8:30～17:00	土曜・日曜・祝日
19	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30～18:00 土 9:30～17:00	日曜・祝日 (5/2・4除く)
20	美波町日和佐図書・ 資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00～18:00 土・日 10:00～17:00	月曜・祝日
21	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日
22	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
23	宍喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町宍喰浦字宍喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
24	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00～18:00	月曜・月末
25	北島町立図書館	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00～18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
26	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00～18:00	月曜・祝日 第3木曜
27	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00～18:00	月曜・祝日・月末
28	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00～18:00 (4-9月) 10:00～17:30 (10-3月)	火曜・木曜 祝日・月末(土・日除く)

徳島県立図書館案内図

- J R 徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約 25 分）
- J R 牟岐線文化の森駅から／徒歩（約 35 分） バス利用（7 分）



開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで 午前 9 時 30 分から午後 7 時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） 午前 9 時 30 分から午後 5 時まで

休館日

- ・ 月曜日
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第 3 木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始
- ・ 特別整理期間（年間 10 日間以内、例年 1 月下旬から 2 月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

(3) 個別事項

① 全県民へのサービス展開

県立図書館は、県民が必要とする資料・情報が提供できる図書館として、仕事探しの課題解決への支援や子どもを取り巻く読書環境の充実、図書館利用に障壁を感じる多様な人々が共生する社会の実現に向けた環境整備を進めます。

- a ライフステージに沿った資料収集とサービス提供
仕事・子育て・健康など、県民の暮らしの中で関心の高いテーマに関する資料を積極的に収集するとともに、県民が抱える課題解決に役立つ展示やコーナーの設置など、県民のライフステージに沿ったサービスを提供します。
- b 子どもの読書活動の推進
幅広い児童書の収集や求める資料に出会える場の構築、豊富な保存資料と県内図書館のネットワークを活用したサービスの展開などにより、子どもたちに幅広い読書の機会が提供できる体制づくりを進めます。また、子どもの読書を支援する立場にある保護者を含めた大人を対象とした読み聞かせや調べ学習に役立つ資料や情報も提供します。
- c 図書館利用に障壁を感じる人を一人でも少なくする取り組み
障がいがある人や高齢者など、何らかの理由により図書館を利用しにくいと感じる人に対する理解を職員が深めるとともに、大活字本やデジ図書等(＊)の収集や分かりやすい館内表示などによる環境改善に努め、全ての県民に開かれた図書館を目指します。



こどもの本コーナー



デジ図書等の提供

数値目標	平成26年度実績	平成32年度目標
● 資料紹介展示回数	41回 →	50回
● デジ図書等の所蔵点数(累計)	286点 →	400点

＊デジ図書等…デジ図書は本の朗読を録音したメディアで、目次から聞きたい箇所へ飛んだり、しおりをつけたりできる。音声のみのデジ図書とパソコン等で音声と画像を同時に再生できるマルチメディアデジ図書を合わせて「デジ図書等」と表記している。

徳島県立図書館サービス向上目標(第3期) ～県立図書館サービスの新たな展開～

平成28年3月

徳島県立図書館は、これまで2回にわたり「徳島県立図書館サービス向上目標」を策定し、設定した目標の達成に向け業務を進めてまいりました。

この度、これまでの活動を踏まえた上で、今後5年間に於ける県立図書館が目指すべき目標を設定した「新たな計画」を策定しました。この計画に基づき、県立図書館が社会の変化に的確に対応しながら、県民ニーズに応えられるよう「図書館サービス」を提供してまいりたいと考えています。

1. 運営方針

徳島県における図書館ネットワークの中核として、広域的な視点でその専門性を活かしながら、県民のニーズや課題に的確に対応し、県全体としての図書館サービスの向上を図ります。

2. 行動指針

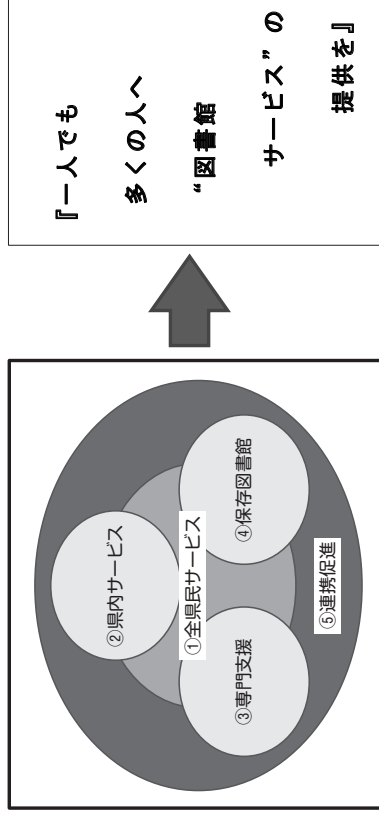
『一人でも多くの人へ “図書館サービス” の提供を』

3. 基本目標

(1) 5つの目標

- ① 全県民へのサービス展開
- ② 県内図書館サービスの向上
- ③ 専門情報支援サービスの提供
- ④ 県内資料・情報の保存図書館
- ⑤ 様々な機関との連携促進

(2) 展開イメージ



③専門情報支援サービスの提供

県立図書館は、豊富な所蔵資料と資料・検索技術に精通した職員の専門性を活かして、レファレンスサービス（本の検索、調べもの手伝い、研究に必要な文献調査などを行うこと。）を充実するなど、県内における調査・研究の情報拠点としての機能向上に努めます。

a 課題解決・行政支援

県民の暮らしや仕事に役立つ資料や情報、あるいは自らが地域政策に関わりやすくなるための資料を適時提供します。また、県政情報をはじめとした様々な公共機関の情報提供を行うとともに、行政への各種調査・相談サービスを通して、地域が抱える課題の解決に向けた支援を行います。

b 情報検索ツールの充実

県民からより一層利用される図書館を目指して、レファレンス事例データの登録や時宜に応じたバスファインダー（＊）を作成するなど、図書館資料や情報に県民自らアクセスできる環境整備を進めます。

c 県外図書館等との協体制

県外の公共図書館・大学図書館及び国立国会図書館とのネットワーク拠点として、県民が求める資料を迅速かつ的確に提供できる体制づくりを目指します。

「調べものナビ」（バスファインダー）



参考カウンターでのレファレンス



数値目標	平成26年度実績	平成32年度目標
●レファレンス件数	13,151件 →	16,000件
●バスファインダー作成件数	21件 →	50件

＊バスファインダー＝特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内リーフレット。

②県内図書館サービスの向上

県立図書館は、市町村立図書館への支援を第一に、高度化する情報社会への対応や職員研修の充実などにより、県内図書館サービスの向上に努めます。

a 市町村立図書館への支援

市町村立図書館への協力貸出やレファレンスを充実するとともに、市町村立図書館と連携しながら、近年増加傾向にある調べ学習を県内学校図書館に支援するサポートサービスを開始します。

b 図書館システムの充実

I C Tの進展に伴い、スマートフォンなどの携帯端末の利用に対応したサービスへのニーズが高まるなど、高度な技術を活用した情報化への対応が求められています。このため、現行のとくしまネットワーク図書館システムやホームページを時期をみながら見直すなど、県民の利便性の向上に努めます。

c 図書館職員の研修

図書館業務を取り巻く環境の変化に伴い、職員に求められる技術が多様かつ複雑になっていることから、スキルアップのための研修を充実するなど、県内図書館界の技術力向上に努めます。

図書館職員等研修会



県内の物流を支える



数値目標	平成26年度実績	平成32年度目標
●県内公共図書館総貸出冊数	3,872,869冊 →	4,200,000冊
●研修参加者総数（累計）	440人 →	2,000人

⑤様々な機関との連携促進

県立図書館は、文化の森各館との連携はもとより、県内の行政機関・大学をはじめ様々な機関との連携をより一層深めることにより、これまでに以上に幅広く事業展開ができるように努めます。

a 文化の森における連携

文化の森各館（博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館）との連携を一層強化し、魅力ある企画を共同で実施するとともに、広報活動等の強化も図ります。

b 行政機関・大学との連携

行政機関や大学との連携をさらに深め、行政情報の開示や共同講座の開催などによるネットワークの強化に努めます。

〈四国通路〉の世界 展示



徳島大学生との意見交換会



兵庫県立図書館との交換講座



数値目標	平成26年度実績	平成32年度目標
●連携事業総件数（累計）	32件	→ 200件

④県内資料・情報の保存図書館

県立図書館は、郷土資料の充実や所蔵資料のデジタル化による利便性の向上、図書館資料の保存・整備に努めながら、将来の利用を見据えた県の資料センターとしての機能を高めます。

a 郷土資料の収集

徳島県や県出身者に関する資料や地域の行政資料などを網羅的に収集し、後世まで伝えることのできる体制を整えます。また、Web情報のみで公開される逐次刊行物のプリントアウトやアクセス確保などにも取り組みます。

b 郷土レファレンスの充実

郷土に関する調査相談の事例、地域の事項や人物のデータベースを充実し、これらをWeb上に公開するなどにより、県民の調査研究を支援します。

c 子どもの本の資料センター

子どもの読書支援や子育て支援のために、子どもの本を収集・整備した機関「子どもの本の資料センター」に向けた取り組みを進めます。

閲覧室



書庫ツアー



数値目標	平成26年度実績	平成32年度目標
●郷土レファレンス公開件数（累計）	668件	→ 1000件
●児童書の貸出冊数	179,638冊	→ 185,000冊

サービス向上目標(第3期)数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

評価判定用数値		平成26年度実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 全県民サービス	資料紹介展示回数	41	目標					50
			実績	55	64	67	64	
	デイジー図書等の所蔵点数	286	目標					400
			実績	350	382	412	436	
② 県内図書館	県内公共図書館総貸出冊数	3,872,869	目標					4,200,000
			実績	3,907,910	3,832,796	3,823,601		
	研修参加者総数（累計）	440	目標					2,000
			実績	597	1,041	1,592	2,149	
③ 専門情報支援	レファレンス件数	13,151	目標					16,000
			実績	11,386	10,606	11,693	11,061	
	パスファインダー作成件数	21	目標					50
			実績	31	45	50	55	
④ 保存図書館	郷土レファレンス公開件数（累計）	668	目標					1,000
			実績	764	842	950	992	
	児童書の貸出冊数	179,638	目標					185,000
			実績	203,498	219,133	219,220	221,072	
⑤ 連携促進	連携事業総件数（累計） ※	32	目標					200
			実績	28	60	97	130	

* 図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

徳島県立図書館 年 報 令和2年度版

発行日 令和2年6月1日

発行人 〒770-8070
徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園
徳島県立図書館
館長 野々瀬 由佳
TEL (088)668-3500 (代)
FAX (088)668-6904
